

風水害(台風や大雨など)と地震の2つに大きく分けられます。2種類に分けられるというのは、風水害は事前予測が可能なので災害発生前から、地震は予測が難しいので発災後からの計画を作るためです。今回はこれらのうち、到来が事前に予測ができる、風水害に対してのマイ・タイムラインをテーマにしました。

風水害のマイ・タイムラインを作成するためには、市町村が出しているハザードマップと、天気予報を見ることが必要です。

ご自宅には大阪市から出されたハザードマップがありますか?(大阪市の場合、各区単位でハザードマップがあります。)ハザードマップには、その土地にある災害リスクが示されており、山沿いであれば土石流災害、海沿いであれば津波・高潮、川沿いであれば河川氾濫、標高の低い土地があれば浸水の想定域が書かれています。ただし、ハザードマップに書かれている危険度は、ある気象条件を想定していることから、必ず起こるというものではありませんが、危険が近くに潜んでいることは覚えておいてください。

ご自宅等の危険度を把握したら、次は命を繋ぐ行動を考えることとなります。

風水害は天気予報により、事前に到来時期が予測できます。毎日の天気予報や、週間天気予報などでは、近い将来(3~5日後)に台風や大雨が来るといったことも分かります。もし風水害の危機が近づいてくることが分かった場合、テレビ・ラジオやスマートフォン等から最新の気象情報を得るようにしてください。また、気象庁では災害につながるような気象現象が予想される時、数日前から「早期注意情報(警報級の可能性)」という情報が出されますので、いつ頃に雨や風がひどくなるのか知っておくことも大切です。(該当するホームページを見たい時は、「気象庁」と「早期注意情報」で検索をしてください。)

仮に雨や風がひどくなるとして、ハザードマップでご自宅等の周りに災害リスクはありましたか?次は避難方法です。

避難方法にも、「水平避難(立ち退き避難)」と「垂直避難(屋内安全確保)」という方法があります。

まず「水平避難」とは、早めに自宅外の安全な場所に避難をすることです。一般的には公的施設に市町村が設置する「一時避難所」への避難が考えられますが、これ以外に友人宅や親せき宅、空き部屋がある場合にはホテルといった宿泊施設も避難先の一つになります。ただし、水平避難をする場合には、雨や風が強くなる前に避難をすることが重要です。

一方の「垂直避難」とは、自宅の上層階に避難をして安全確保をする方法です。河川が近隣で不安がある時は水平避難をしてください。夜間や急な大雨になって水平避難が難しい場合には、無理に自宅等から出ないで垂直避難をしてください。

ご自宅等の近所の災害リスクや避難方法が決まれば、最後は避難のタイミングです。

気象警報が出されると「高齢者等避難」という避難情報が出ることがあります。この意味は、避難に時間を要する人(高齢の方、障がいのある方、妊産婦・乳幼児等)とその支援者が安全な場所に避難することを促すために発令され、避難に時間を要する人以外も必要に応じ、出勤等の外出を控えたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。この高齢者等避難は、気象庁から気象警報が出され、さらにひどくなることが想定される場合に市町村により発令されます。多くの市町村では、この高齢者等避難が発令されたタイミングで一次避難所が開設されます。在宅等に不安がある場合は、高齢者等避難の発令があった時が避難のタイミングとなります。ただし、この時点で雨や風などが強くなっている時は、無理な水平避難は避け、垂直避難で身の安全を守ってください。

◆大阪市育成会では、災害時での障がい児者の避難支援について、本人・ご家族・支援者の皆さまがお困り事や疑問についてのアンケート調査をしています。締め切りは11月17日(日)です。ご協力をお願いいたします。

【アンケート回答フォーム】

URL : <https://qr.paps.jp/wlot>



「第42回スポーツフェスタ2024大阪大会」が開催されました

10月12日(土)・13日(日)・14日(月・祝)に「第42回スポーツフェスタ2024大阪」が開催されました。

12日はヤンマースタジアム長居において開会式が行われ、その後、陸上、フライングディスク、レクリエーションなどの競技が実施されました。その他、12日から2日間にわたり、ボウリングとバスケットボールがマグスミノエとRACTABUドームで開催され、13日にはサッカーとソフトボールがJ-GREEN堺と万博記念公園スポーツ広場で開催され、14日には卓球と水泳が長居障がい者スポーツセン